



HARMONY V100/V60

100/60 Watt 2-Channel Acoustic Amplifier with Vocal Processing, Looper, Tannoy Dual Concentric Speaker, Top Firing Tweeter and 4-Button Footswitch

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

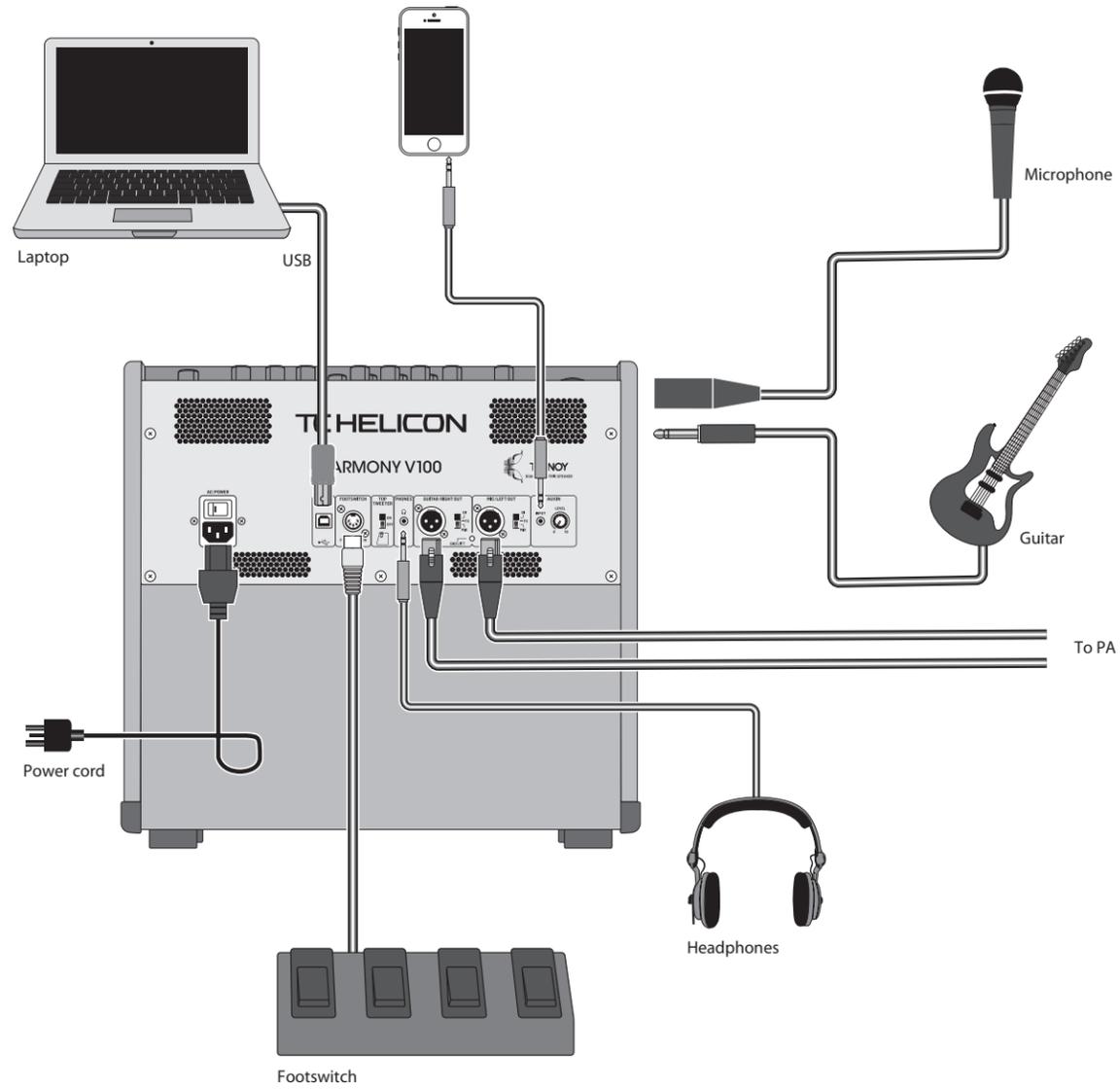
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

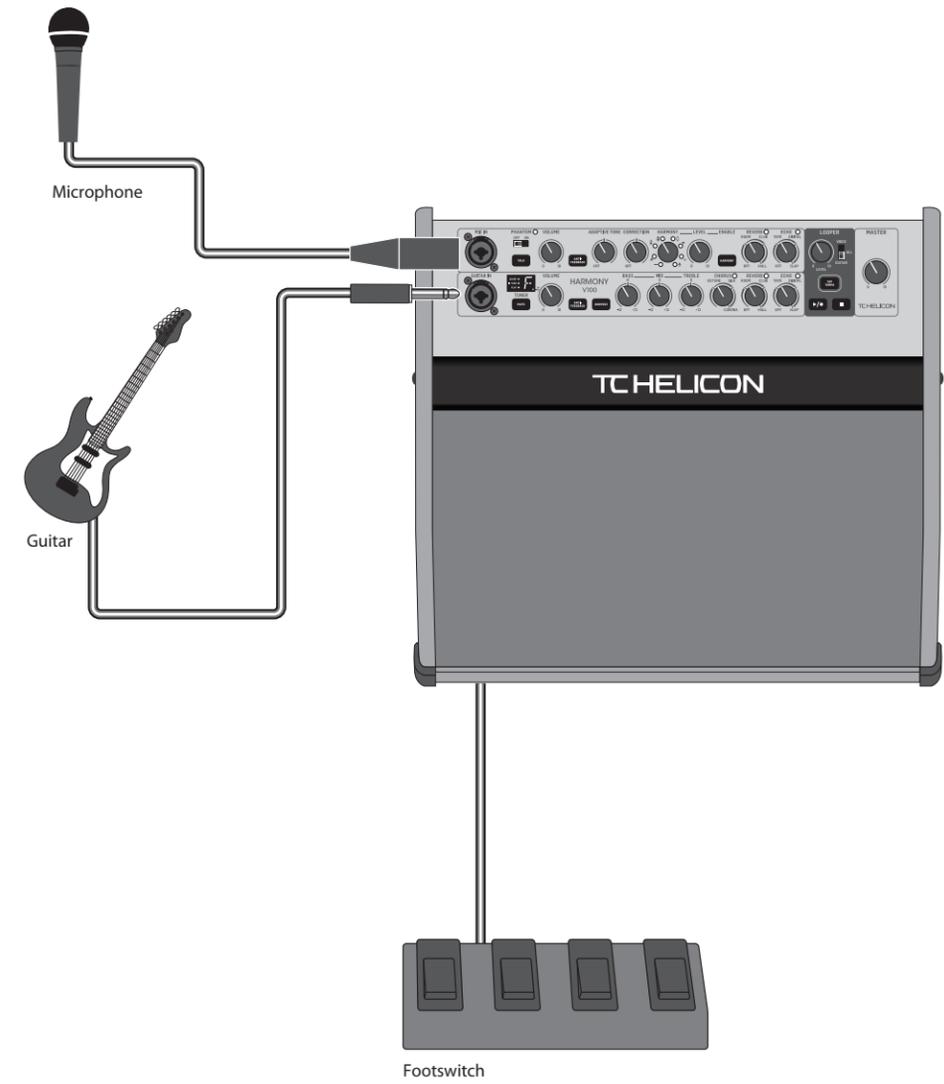
HARMONY V100/V60 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ステージ/スタジオ システム

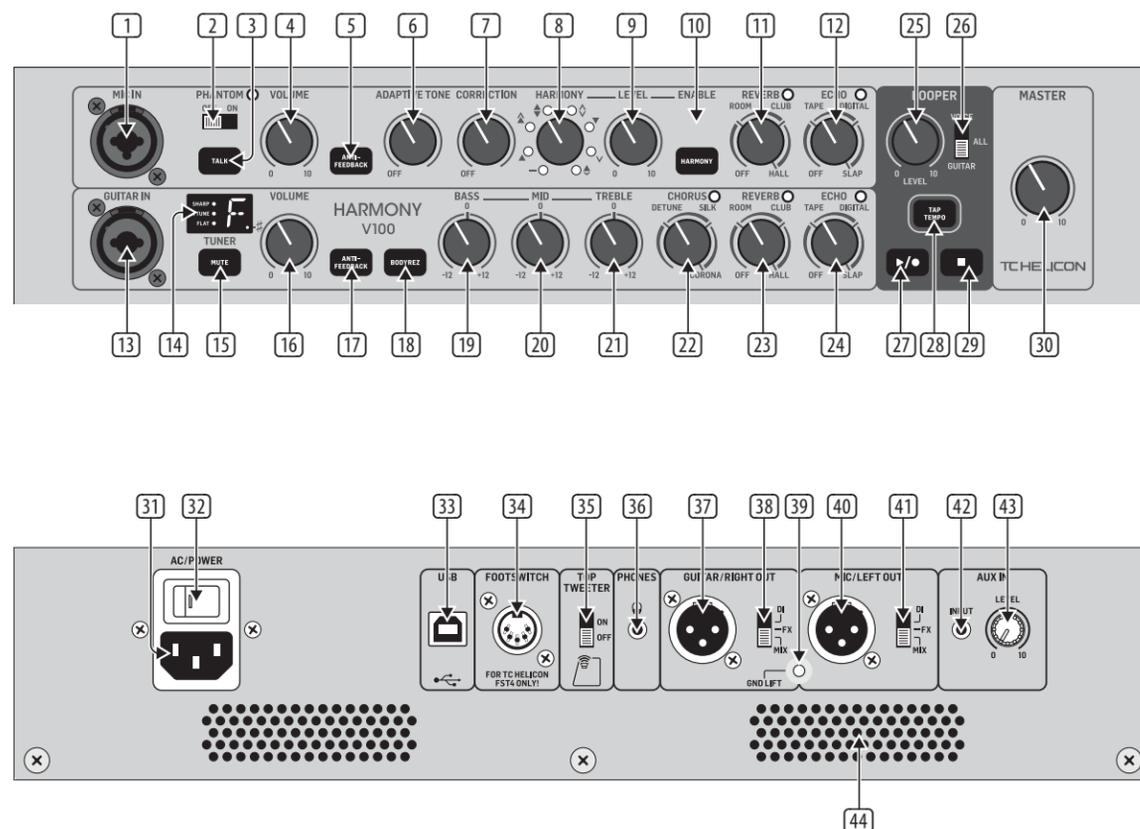


基本システム



HARMONY V100/V60 フックアップ

ステップ 1: フックアップ



*注: コントロールの中で *印がついているものは、フットスイッチによる制御が可能です。詳しくはフットスイッチの項をご覧ください。

マイクロフォン部

- MIC IN (マイク入力)** - マイクロフォンを接続する XLR および ¼ インチ TRS 端子です。
- PHANTOM (ファンタム)** - ファンタム電源が必要な場合は "ON" を選択します。警告: マイクロフォンによっては、ファンタム電源により損傷が生じる場合がありますのでご注意ください。
- TALK* (トーク)** - 未処理のトーク信号が必要な際に、DSP (Adaptive Tone を除く) をすべてバイパスします。
- VOLUME (音量)** - マイクロフォンの音量を調節します。
- ANTI-FEEDBACK (アンチフィードバック)** - フィードバックループの発生リスクを下げます。押しすと緑色に点灯し、アンチフィードバック機能が作用している間は青色になります。
- ADAPTIVE TONE (アダプティブトーン)** - 自動 EQ およびダイナミックプロセッシング機能により、スタジオで製作したようなボーカルサウンドになります。OFF (オフ) の位置では、コンプレッション、ディエッサ、ゲート、およびアダプティブ EQ 等の全トーンアルゴリズムは無効になります。このノブを時計回り方向に動かすと、コンプレッション、ディエッサおよびゲートが有効になり、アダプティブ EQ は、最大に設定するとフルまで増加します。

- CORRECTION (コレクション)** - OFF (ピッチ修正無し) ~ 最大効果の範囲で、クロマチックピッチ修正を有効にします。

- HARMONY* (ハーモニー)** - 8 種類のボーカルハーモニー効果より選択します:

ユニゾン、ダブリング
ハイ
ハイアンドハイヤー
ローアンドハイ
ローワーアンドハイヤー
ロー
ローワー
ベースアンドハイ

- LEVEL (レベル)** - ハーモニーエフェクトのレベルを調節します。
- ENABLE (有効スイッチ)** - ハーモニーの有効 / 無効を切り替えます。
- REVERB* (リバーブ)** - リバーブ設定を、OFF (リバーブ無し) から、ヴェニューサイズを表す ROOM (ルーム)、CLUB (クラブ) および HALL (ホール) の間で調節します。
- ECHO* (エコー)** - エコー効果を OFF (エフェクト無し)、TAPE (テープ)、DIGITAL (デジタル)、および SLAP 等の間で調節します。

ギター部

- GUITAR IN (ギター入力)** - ギターや楽器を、XLR および ¼ インチ TRS で接続する入力端子です。
- TUNER (チューナー)** - 入力されたギター信号のチューニングを、A-G の音名および、シャープ、ジャスト、フラットの LED で表示します。
- MUTE* (ミュート)** - チューニングやブレイクの際、ギター入力をミュートします。
- VOLUME (音量)** - ギター音量を調節します。
- ANTI-FEEDBACK (アンチフィードバック)** - フィードバックループの発生リスクを下げます。押しすと緑色に点灯し、アンチフィードバック機能が作用している間は青色になります。
- BODYREZ (ボディレス)** - ピエゾピックアップのギターを使用する際、自然なトーンへ復元します。4 種類から選択します:

OFF: (オフ - エフェクト無し)
Red: (赤色: Bodyrez 1 - ボディレス 1)
Blue: (青色: Bodyrez 2 - ボディレス 2)
Green: (緑色: Bodyrez 3 - ボディレス 3)

- BASS (ベース)** - 低域レベルを +/- 12 dB の範囲で調節します。
- MID (ミッド)** - 中域レベルを +/- 12 dB の範囲で調節します。
- TREBLE (トレブル)** - 高域レベルを +/- 12 dB の範囲で調節します。
- CHORUS* (コーラス)** - コーラス効果を OFF (コーラス無し)、DETUNE (デチューン)、SILK (シルク) および CORONA (コロナ) の間で調節します。

- REVERB* (リバーブ)** - リバーブ効果を OFF (リバーブ無し)、ヴェニューサイズを表す ROOM (ルーム)、CLUB (クラブ) および HALL (ホール) の間で調節します。
- ECHO* (エコー)** - エコー効果を OFF (エコー無し)、TAPE (テープ)、DIGITAL (デジタル) および SLAP (スラップ) の間で調節します。

ルーパー部

- LEVEL (音量)** - 現在録音されているループのプレイバックレベルを、ライブパフォーマンスとの相関で調節します。
- VOICE/ALL/GUITAR (ボイス/オール/ギター)** - ループさせるソースを選択します: ボーカルのみ、ボーカルとギター、ギターのみ。
- PLAY/RECORD* (再生/録音)** - このスイッチは、現在のループをプレイすると緑色に、録音またはダビングの際は赤色に点灯します。
- TAP TEMPO* (タップテンポ)** - ディレイテンポを設定し、また現在のテンポに合わせて点滅します。ループを録音すると、テンポはループ長から割り出されます。このスイッチをホールドすると、ループ長からのテンポ自動割り出しと、手動タップテンポとを切り替えます。
- STOP* (停止)** - ループ再生または録音を停止します。

マスター部

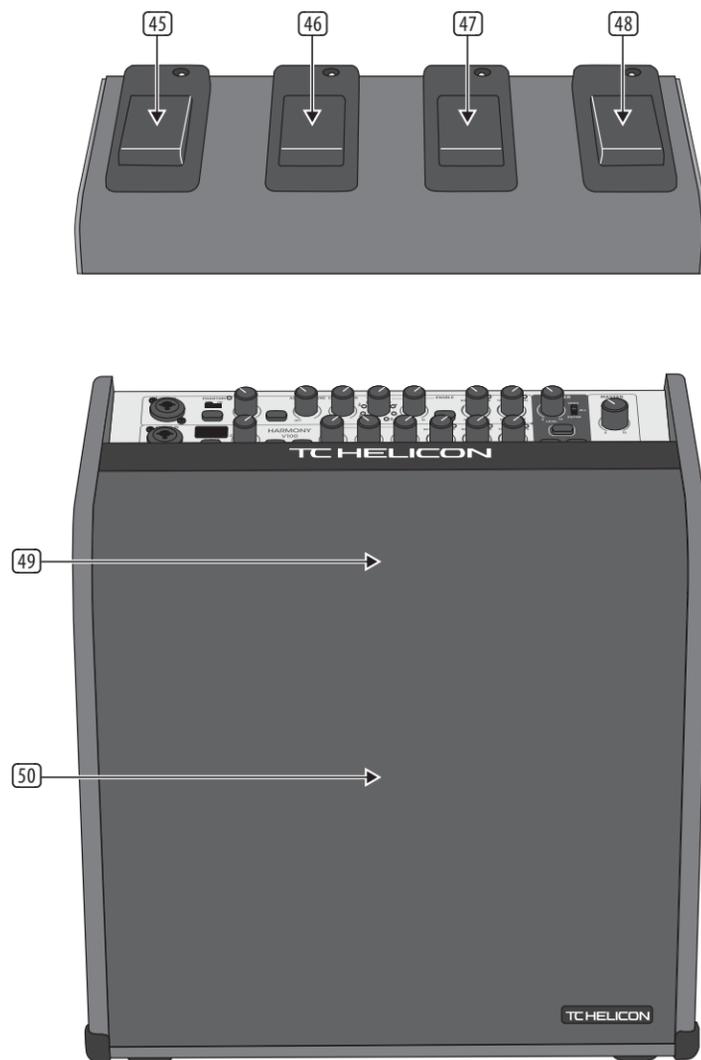
- MASTER (マスター)** - メイン音量を調節します。接続をおこなう際、およびユニット電源をオン / オフする際にはレベルを下げてください。

背面パネル

- AC 電源入力** - 付属の電源コードをしっかりと接続してください。警告: 必ず付属の電源コードをご使用ください。
- AC POWER (AC 電源) スイッチ** - ユニット電源のオン / オフ時にはこのスイッチを使用します。このスイッチは常に操作可能な状態にしておいてください。
- USB** - ユニートをコンピューターと接続すると、コンピューターへ / コンピューターからの録音およびプレイバックが可能になります。

HARMONY V100/V60 コントロール

ステップ 2: コントロール



- 34 **FOOTSWITCH (フットスイッチ)** - 付属のフットスイッチを接続して、様々な機能をフットコントロールできます。必ず付属の物をご使用ください。
- 35 **TOP TWEETER (トップツイーター)** - 内蔵トップツイーターのオン/オフを切り替えます。
- 36 **PHONES (ヘッドフォン)** - ヘッドフォンを接続するステレオ 3.5 mm TRS 端子です。警告: 聴覚組織の損傷を防ぐため、マスター (MASTER) ノブで音量を下げてからヘッドフォンを接続 / 装着してください。
- 37 **GUITAR/RIGHT OUT (ギター/右出力)** - ギター / 右メインオーディオ出力を PA システムへ出力するための XLR オスコネクターです。
- 38 **DI/FX/MIX SWITCH (DI/FX/ミックススイッチ)** - ギター / 右オーディオ出力の信号を、未処理のギター DI 信号、処理済みギター信号、またはフルミックス右チャンネルのうちから選択します。
- 39 **GROUND LIFT (グラウンドリフト)** - 左右 XLR 出力のオーディオの接地を解除します。状況により、こちらを使用することでグラウンドループハムが低減されます。パワーサプライの安全用設置端子には影響しません。
- 40 **MIC/LEFT OUT (マイク/左出力)** - マイクロフォン / 左メインオーディオ出力を PA システムへ出力するための XLR オスコネクターです。
- 41 **DI/FX/MIX (DI/FX/ミックス) スイッチ** - マイク / 左オーディオ出力の信号を、未処理のマイク DI 信号、処理済みマイク信号、またはフルミックス左チャンネルのうちから選択します。
- 42 **AUX INPUT (AUX 入力)** - MP3 プレイヤー、コンピューターのヘッドフォン出力などの外部ソースを AUX 接続する 3.5 mm TRS 端子です。
- 43 **AUX LEVEL (AUX レベル)** - AUX オーディオソースの入力レベルを調節します。
- 44 **VENTILATION SLOTS** - メインパワーアンプリファァおよびパワーサプライの換気をおこないます。警告: ユニットの過熱を防ぐため、換気口を物などで塞がないようにし、空気の流れを十分に確保してください。

フットスイッチ

フットスイッチはカスタマイズが可能で、いずれのスイッチにも、使用可能な機能のコントロールを容易に割り当てることができます (詳しくはクイックスタートガイドをご覧ください)。デフォルトのセッティングはユニットに印がついています:

- 45 **HARMONY** - ボーカルハーモニーを有効 / 無効にします。
- 46 **VOCAL FX** - ボーカルリバーブおよびエコーを有効 / 無効にします。
- 47 **GUITAR FX** - ギターコーラス、ギターリバーブおよびエコーを有効 / 無効にします。
- 48 **LOOPER** - ルーパー機能を制御します。

ラウドスピーカー

- 49 トップツイーターの位置
- 50 デュアルコンセントリック ラウドスピーカーの位置

HARMONY V100/V60 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この“クイックスタートガイド”では、ユニットのセットアップ方法および、機能についての簡潔なご紹介をします。

接続

お使いのシステムにユニットを接続する際は、本マニュアル冒頭に記載されている接続例をご参照の上おこなってください。

ソフトウェアセットアップ

USB 接続により、ユニットからオーディオ 2 チャンネルをコンピューターへ送信し、DAW などに録音することができます。また、コンピューターのオーディオ再生を 2 チャンネル分受信できます。

ユニットとコンピューターの連携には、PC コンピューターの場合は Windows ドライバーがインストールされている必要があります。Mac OS の場合、ドライバーは不要です。

当社ウェブサイトで Windows 用ドライバーの最新版をご確認ください。ドライバーに付属するインストール手順にしたがってください。

USB ケーブルでお使いのコンピューターとユニットを接続後、電源を入れると、コンピューターに USB オーディオ機器として認識されます。

録音する場合は入力機器、プレイバックを出力する場合は出力機器として選択します。USB コンピューター接続は、ファームウェアのアップデートか、コンピューターからのプレイバック / コンピューターへの録音時のみに必要となります。

コンピューターへの録音には、Harmony V60/V100 ユニット上で実行される全処理が含まれます。コンピューターからのプレイバックには、マスター音量以外のユニット上の処理は作用しません。

ハードウェアセットアップ

お使いのシステムの接続を、フットスイッチも含め全て済ませます。

シンプルなシステムでは、マイク入力 (MIC IN) にマイクフォンを、ギター入力 (GUITAR IN) にギターを接続します。

お使いのマイクにファンタム電源が必要かどうかを確認します。マイクの種類によって、ファンタム電源により損傷する場合がありますのでご注意ください。

マイク入力およびギター入力の音量コントロールと、マスター音量を下げます。

必ず付属の電源コードを使用し、ユニットを AC 電源に接続します。外部サウンドシステム (使用する場合) の電源はまだ入れないでください。

フットスイッチ操作

割り当てたいコントロールを回しながら / 押しながら、フットスイッチを踏むことで、フットスイッチに割り当てます。

いくつかのコントロール類をグループとして選択できます。例えば、フットスイッチを踏み込んだ状態で、以下を押します：

REVERB と ECHO
CHORUS、REVERB および ECHO
MUTE および TALK

注：
HARMONY (ハーモニー): いずれかのフットスイッチを長押しし、HARMONY を押すか、またはセレクターを回すと、フットスイッチによるボイスングの有効 / 無効切り替えが可能になります。

ECHO (エコー): フットスイッチの割り当て後、フットスイッチを長押しして任意のテンポでタップすることで、TAPE (テープ) および DIGITAL (デジタル) リピートレートを調節します。

マイクフォン部

下記の手順で、ボーカルメイキングを開始しましょう。

- 背面パネルの電源スイッチを入れます。
- 音量 (VOLUME) を少しだけ上げて、マイクフォンに向かって喋ったり、歌ったりします。マスター (MASTER) 音量を適切なレベルに調節します。
- アンチフィードバック (ANTI-FEEDBACK) を押し、ボーカルフィードバックのリスクを低減します。
- 処理される前の状態の声を確認するには、トーク (TALK) を押します。
- ハーモニー (HARMONY) スwitchをオフにし、リバーブ (REVERB) およびエコー (ECHO) も “OFF” の位置にし、ボーカル上のアダプティブトーン (ADAPTIVE TONE) とコレクションズ (CORRECTION) コントロールの効果を聞いて、確認します。

ボーカルハーモニー

- ハーモニー (HARMONY) は、ハーモニーイネーブル (HARMONY ENABLE) スwitch またはハーモニーフットスイッチで有効にできます。ハーモニー音量 (LEVEL) コントロールを上げて、8 種類の異なるボーカルハーモニーエフェクトの、ボーカルへの効果をご確認ください。
- 注意: ハーモニー (HARMONY) スwitch を押しながら電源をオンにした場合は、ハーモニーに使用しているフットスイッチ は全て、押ししている間だけ回路が繋がる、モーメンタリースwitchとなります。

ボーカルリバーブ

- リバーブ (REVERB) コントロールを調節し、ディレイタイムを伸ばしたり、OFF (リバーブ無し) からルーム (ROOM)、クラブ (CLUB)、およびホール (HALL) の間で適宜調節して、ボーカルにリバーブを付加します。ボーカルへの効果を確認します。

ボーカルエコー

- OFF (エコー無し) からテープ (TAPE)、デジタル (DIGITAL) およびスラップ (SLAP) スタイルの間でエコーコントロールを調節し、ボーカルにエコー (ECHO) を付加します。ボーカルへの効果を確認します。
- テープ (TAPE) およびデジタル (DIGITAL) の場合は、タップテンポ (TAP TEMPO) スwitch を押し、リピート回数を調節します。

ギター部

次の手順に従ってギターの使用を開始します。

- 背面パネルの電源スイッチをオンにします。
- 音量 (VOLUME) を少し上げ、ギターを弾きます。マスター音量 (MASTER) を適切なレベルに調節します。

ギターチューニング

- ミュート (MUTE) スwitch を押し、チューニング中にギターの音が出ないようにします。
- 内蔵クロマチックチューナーのディスプレイを見ながら、しっかりとチューニングを合わせます。
- チューニングが完了したら、ミュートスswitch を解除します。
- アンチフィードバック (ANTI-FEEDBACK) スwitch を押し、フィードバックの発生リスクを低減します。
- お使いのギターのピックアップがピエゾタイプの場合、ボディレズ (BODYREZ) スwitch を使用して音色の自然さを復元します。ボディレズには 4 種類のタイプがあり、各々異なる LED カラーとなっています：
OFF: (エフェクト無し)
赤色: (Bodyrez 1)
青色: (Bodyrez 2)
緑色: (Bodyrez 3)
- 低域 (BASS)、中域 (MID)、および高域 (TREBLE) コントロールを適宜調節します。レベル幅は非常に広いですが、EQ は微調整に使用し、ブーストよりはカットに使用すると良いでしょう。

ギターコーラス

- OFF (コーラス無し)、デチューン (DETUNE)、シルク (SILK)、およびコロナ (CORONA) の間でコーラス (CHORUS) コントロールを調節し、ギターにコーラス効果を付加します。ギターへの効果を確認します。

ギターリバーブ

- リバーブコントロールを、ヴェニューのサイズが大きく、ディレイタイムが長くなっていく順に OFF (リバーブ無し)、ルーム (ROOM)、クラブ (CLUB) およびホール (HALL) の間で調節して、ギターにリバーブ効果を付加します。ギターへの効果を確認します。

ギターエコー

- エコー (ECHO) コントロールを、OFF (エコー無し)、またはテープ (TAPE)、デジタル (DIGITAL) およびスラップ (SLAP) 等のスタイルの間で調節し、ギターにエコー効果を付加します。ギターへの効果を確認します。
- テープ (TAPE) およびデジタル (DIGITAL) スタイルのリピートレートは、タップテンポスswitch (TAP TEMPO) を任意のテンポで押しして設定します。

ルーパー部

- マイク / オール / ギター (MIC/ALL/GUITAR) スwitch を使用して、マイクフォン、マイクフォンおよびギター、ギターの 3 つの選択肢から、ループ (LOOP) のソースを選びます。
- デフォルトでは、ルーパー (LOOPER) フットスイッチで、再生 / 録音 (PLAY/RECORD) スwitch を操作します。
- 再生 / 録音スswitch (PLAY/RECORD) は初回録音時またはオーバーダビング時には赤色に点灯し、フットスswitch LED も同様です。プレイバック時には緑色になります。
- TAP TEMPO wスswitch テンポの設定に使用され、現在のテンポに合わせて点滅します。これにより、ECHO (エコー) デイレイタイムに同期できるため、現在のソングの拍子に合わないエコーの発生を防ぐことができます。

テンポは、フットスイッチを下記の要領で使用することでも変更可能です: VOCAL FX (ボーカルエフェクト) または GUITAR FX (ギターエフェクト) フットスswitch を、LED が現在のテンポで点滅し始めるまで長押しします。フットスswitch を任意のテンポでタップします。2 ~ 3 秒間の後、フットスswitch は通常の動作に戻ります。

ループを作成すると、ループ長からテンポを自動的に導き出します。TAP TEMPO スwitch (ユニットのみ) をホールドすると、ループ長からのテンポ割り出しを、以降の録音およびオーバーダブにおいて無効にします。再度ホールドすると、ループ長からのテンポ割り出しに戻ります。

注意: 両方の ECHO (エコー) コントロールが、“デジタル”設定に比べ、より時計回り方向に位置している場合、TAP TEMPO スwitch はオフになりませ (SLAP ECHO -スラップエコー- 設定では不要)。

- ループしたいシーケンスを、演奏および / または歌います。
- 良いタイミングで、再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタン、または割り当てたフットスswitch を押し、録音を開始します。
- 終わったら、再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタンを押して録音を停止します。すると録音したループの再生が開始します。
- ループが納得行くものであれば、再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタンを 2 回押すか、停止 (STOP) ボタンを押してプレイバックを停止します。停止 (STOP) ボタンが赤くなり、フットスswitch LED が緑色に点滅して、ループが録音されていることを示します。
- 再生 / 録音 (PLAY/RECORD) を 1 度押すといつでもループを開始でき、2 度押すと停止します。
- ループレベル (LOOPER LEVEL) コントロールを使用して、ライブプレイの音量と比べながらループ再生音量を調節します。

オーバーダビング

- ループを再生しながら、ループに追加したいシーケンスの演奏および / または歌唱を開始します。
- 良いタイミングで再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタンを押し、オーバーダビングモードにして、現在のループのトップに追加するトラックを録音します (上書きではなく、追加します)。
- 再生 / 録音 (PLAY/RECORD) を 1 度押してオーバーダブ録音を停止すると、プレイバックが開始します。
- さらにオーバーダビングを重ねるには、手順 1~3 を繰り返します。

HARMONY V100/V60 はじめに

ステップ 3: はじめに

アンドゥ / リドゥ

1. プレイバック中に、再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタンを長押しすると、最後のオーバーダビングをミュートできます (アンドゥ)。
2. もう一度長押しすると、最後のオーバーダビングのミュートを解除します (リドゥ)。(オーバーダビングの失敗時に消去するだけでなく、パフォーマンスの際、面白い音楽的効果を創出するのに利用できます)。
3. 再生 / 録音 (PLAY/RECORD) ボタンを2度押すか、停止 (STOP) ボタンを押してプレイバックを停止します。必要に応じて停止ボタンを再度押すと、ループを消去します。
4. 再生 / 録音 (PLAY/RECORD) を使用してループを消去するには、ループを再生し、フットスイッチを2度押ししますが、その際2度目を長押しします。

ループ操作

(ルーパー-LOOPER - フットスイッチを再生 / 録音-PLAY/RECORD-に割り当てた状態)

録音	ルーパー (LOOPER) フットスイッチを1回タップ
プレイバックに切り替え	ルーパー (LOOPER) フットスイッチを再度タップ
最後の録音をアンドゥ/リドゥ	ルーパー (LOOPER) フットスイッチを長押し
停止	ルーパー (LOOPER) フットスイッチまたは Tap Stop をダブルタップ
停止してループを消去する	ルーパー (LOOPER) フットスイッチまたは Tap をダブルタップおよび長押しし、停止 (Stop) ボタンを長押し
プレイバック再開	ループ (LOOP) フットスイッチを再度タップ

ファームウェアアップデート

ファームウェアアップデートは VoiceSupport を使って実行します。PC の場合は、当社ウェブサイトで最新版の Windows ドライバーを確認し、マイクロソフト ウィンドウズまたは Mac 用の VoiceSupport 2.0 をダウンロードおよびインストールします。USB で Harmony V60/V100 を接続し、VoiceSupport を起動して、ファームウェアが最新版かどうかを確認します。ファームウェアのアップデート中は、Harmony の LED が周ります。ファームウェアアップデートが無事完了するまで、ユニットの電源を落とさないでください。

技術仕様

	Harmony V100	Harmony V60
オーディオ入力		
ギター入力	¼" TRS バランス / XLRコンボ	
入カインピーダンス	2 MΩ 平衡 / 1MΩ 不平衡	
マイク入力	¼" TRS バランス / XLR コンボ	
入カインピーダンス	XLR: 2.9 kΩ バランス; ¼" 10 kΩ TRS 平衡 / 5k TS 不平衡	
補助入力	3.5 mm TRSステレオ	
入カインピーダンス	19 kΩ	
オーディオ出力		
ギター / 右とマイク/左	XLR バランス、女性	
出カインピーダンス	400 Ω	
最大 出力レベル	0 dBu	
スイッチ	DI、FX、ミックス	
ヘッドフォンアウト	3.5 mm TRS ステレオ	
出カインピーダンス	10 Ω	
最大 出力レベル	8 dBu	
ボイカルセクションコントロール		
ノブ	ボリューム (1 から 10)	
	アダプティブトーン (オフから最大)	
	修正 (オフから最大)	
	ハーモニーセレクター、8 ポジション	
	ハーモニーレベル (0~10)	
スイッチ	リバーブ (オフ、ルーム、クラブ、ホール)	
	エコー (オフ、テープ、デジタル、スラップ)	
	ファントムのオン / オフ	
	オン / オフで話す	
	アンチフィードバックのオン / オフ	
LEDs	ハーモニーの有効化 / 無効化	
	ファントム (赤)、リバーブ (緑)、エコー (緑)、ハーモニーボイス (緑、8 セレクション)	
バックライト付きスイッチ	トーク (緑)、フィードバック防止 (緑、または操作時は青)、ハーモニー (緑)	
ギターセクションコントロール		
ノブ	ボリューム (0~10)	
	低音、棚板 (-12~12 dB)	
	中間、ピーキング (-12~12 dB)	
	トレブル、シェルフ (-12~12 dB)	
	コーラス (デチューン、シルク、コロナ)	
スイッチ	リバーブ (オフ、ルーム、クラブ、ホール)	
	エコー (オフ、テープ、デジタル、スラップ)	
	ミュートのオン / オフ	
	アンチフィードバックのオン / オフ	
	Bodyrez オフ、Bodyrez-1、Bodyrez-2 Bodyrez-3	
表示	ハーモニーの有効化 / 無効化	
	チューナーノート 8 セグメント、赤	
LED	コーラス (緑)、リバーブ (緑)、エコー (緑)	
	チューナーシャープ / フラット / インチューン (赤)	
バックライト付きスイッチ	ミュート (赤)、フィードバック防止 (緑、または操作時の青)、bodyrez (赤、緑、青の選択)	

技術仕様

JP

	Harmony V100	Harmony V60
フットスイッチ可能なコントロール		
マイクセクション	オン/オフで話す	
	現在の設定でのハーモニーのオン/オフ	
	リバーブのオン/オフ	
	エコーのオン/オフ	
ギターセクション	ミュートのオン/オフ	
	コーラスのオン/オフ	
	リバーブのオン/オフ	
	エコーのオン/オフ	
ルーパーセクション	選択した設定でのハーモニーのオン/オフ	
	タップテンポ	
	再生/録音 やめる	
LEDs	フットスイッチが入っているときは緑、録音中は赤	
ルーパーコントロール		
ノブ	レベル (0~10)	
スイッチ	声/すべて/ギター	
	タップテンポ	
	再生/録音 やめる	
バックライト付きスイッチ	テンポ (テンポで赤く点滅)、再生/録音 (緑の再生、赤の録音)、 停止 (赤) をタップします	
リアパネルセクション		
接続	AC 入力 IEC	
	USB B タイプ	
	フットスイッチ、5 ピン DIN (FST4 のみ)	
	ギター/ライトアウト、XLR オス	
	マイク/省略、XLR オス	
スイッチ	補助入力、3.5 mm	
	AC 電源のオン/オフ切り替え	
	トップツイーターのオン/オフ	
	ギター/ライトアウト、DI/FX/MIX セレクター	
	マイク/省略、DI/FX/MIX セレクター	
ノブ	グラウンドリフト、XLR オーディオ 補助入力レベル (0-10)	
USB		
タイプ	クラス準拠の USB 2.0、タイプ B	
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 Mac OS X 10.6.8 以降	
Windows ドライバー	必要なドライバーが提供されます	
オーディオ入力と出力	2 チャンネル、24 ビット、48kHz	
増幅器		
出力電力	110 W	80 W
タイプ	クラス D	
保護	短絡、熱	

	Harmony V100	Harmony V60
スピーカー		
タイプ	10" デュアル同心円、タンノイ	8" デュアル同心円、タンノイ
インピーダンス	4 Ω	
パワーハンドリング	400 W	240 W
トップツイーター (オン/オフ切り替え可能)	1"	
インピーダンス	4 Ω	
全体的な周波数応答	80 Hz~20 kHz (+/- 3 dB) 46 Hz~24 kHz (-10 dB)	90 Hz~20 kHz (+/- 3 dB) 60 Hz~24 kHz (-10 dB)
最大 SPL	118 dbSPL	115 dbSPL
フットスイッチ (付属) (どのスイッチでもフットスイッチ可能なコントロールを操作できます)		
タイプ	FST4	
スイッチ	ハーモニーのオン/オフ (LED 付き)	
	ボーカル FX のオン/オフ (LED 付き)	
	ギター FX のオン/オフ (LED 付き)	
	ルーパーのオン/オフ (LED 付き)	
電源		
主電源電圧	100-240 V~50 / 60 Hz	
消費電力	40 W	35 W
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
電源スイッチ	ロッカー、リアパネル	
寸法 / 重量		
寸法 (H x W x D)	377 x 408 x 311 mm (14.8 x 16.1 x 12.2")	333 x 383 x 287 mm (13.1 x 15.1 x 11.3")
重量	13.3 kg (29.3 lbs)	11.2 kg (24.6 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

